

JARL

倉敷クラブ報

第260号

2005年10月8日 (土)



JARL登録 倉敷クラブ (登録番号31-1-1)

クラブ局 JA4YAB

<http://www.jarl.com/ja4yab/>

クラブ代表者 福岡康男 (JA4XZR)

〒710-0043 倉敷市羽島207-1

TEL086-424-9611

目 次

| | | |
|--------------------|--------|----|
| はじめに | JA4XZR | 1 |
| JA4YAB AWARD VIEWS | JA4XZR | 3 |
| ハムフェア2005見学記 | JA4KI | 6 |
| 電話の常識 (58) | JA4KI | 10 |
| お知らせ | | 11 |

次回定例ミーティングのお知らせ

日 時：平成17年12月10日(土) 18時30分～

場 所：市内白楽町 倉敷商工会議所 (駐車場あり)

[当日入口の案内板にて会場を確認ください]

次回以降の定例ミーティング 06年 2月11日 4月8日

倉敷クラブの管理するレピータ

JR4WH 439.76MHz (運用責任者：JH4EOO)

JP4YCK 1292.58MHz (運用責任者：JA4AXM)

倉 敷 ク ラ ブ 役 員

| | | | |
|-------------|--------|----------|--------|
| 会長(兼アワード担当) | JA4XZR | クラブ報担当 | JA4AJB |
| 副会長(兼会計担当) | JH4GNE | クラブ報担当 | JH4EOO |
| 副 会 長 | JH4GAU | ミーティング担当 | JR4BXK |
| 庶 務 担 当 | JH4EOV | ミーティング担当 | JG4BCG |
| " | JL4TTY | 顧 問 | JA4KI |
| 会 計 監 査 | JH4DDG | | |

クラブ報の原稿はミーティングの2週間前迄にクラブ報担当までに持参またはEメールでお願いいたします 原稿の寸法は表紙の外枠(13.5×21.5cm)です クラブ報担当JA4AJB JH4EOO

クラブ報の配付はミーティング当日持ち帰りを原則としております
ミーティング欠席の場合は代理で受取る方へ依頼されるようお願い
します

はじめに

JA4XZR 福岡 康男

8月28日に、西阿知小学校 グランドを会場にして開催された『平成17年度 倉敷総合防災訓練』に地域クラブ（登録番号31-1-1）として参加しました。

多彩な行事の中で我々の担当は、「アマチュア無線による非常無線通信、被災地域情報の収集」です。

これは、倉敷市が平成14年5月に社団法人日本アマチュア無線連盟岡山県支部と、災害時において電話等の有線通信を利用することができないとき、アマチュア無線を利用して非常無線通信を行ない、情報収集、情報伝達等を行なうという協定を締結していることによります。

今年も、例年通り『JA4YAB JARL倉敷クラブ』が担当しましたが、当日ご協力いただいたクラブ員は8名です。

(コールサイン順) JA4AJB、JA4AJK、JA4LXZ、JA4XZR、
JH4GNE、JR4BXK、JG4BCG、JL4TTY



今回の総合防災訓練は、平成17年8月28日（日）午前9時30分頃南海トラフを震源とする東南海・南海地震が発生。岡山県南に震度6弱、倉敷市も建物倒壊、道路寸断等の災害があり、特に西阿知学区内で被害が多発、二次災害も発生している。さらに津波の来襲が懸念され、倉敷市域沿岸部には津波警戒の避難勧告が発令されているとの想定で実施されました。

クラブ員の一人JA4BAXさんは、広報担当として「FMくらしき」

のスタッフを引き連れての参加でした。

防災訓練の終盤、マスコミ各社から取材を受けましたので、過去の災害発生時のアマチュア無線関係者によるボランティア活動、緊急時におけるアマチュア無線の貢献などについて若干PRさせていただきました。

総合防災訓練はスムーズに終了しましたが、9月1日は防災の日です。いまや、『災害は忘れた頃にやってくる』ではなくなり、昨年の防災訓練直後の台風16号による高潮被害の記憶もなまなましいものですし、その後も中越地震、スマトラ沖大地震、宮城沖地震、ハリケーン襲来・・・と相次ぐ災害発生が内外から伝えられてきて、安閑としておられない昨今です。今、我々に何ができるか—を、よく考えて対処しなければなりません。

脅かすつもりはありませんが、倉敷市から提供された資料によりますと

① 東南海・南海地震の発生確率

政府中央防災会議が公表した南海トラフに発生する地震の長期評価では、今後30年以内の東南海・南海地震の発生確率は50%を超えと言われ、今世紀前半の発生が懸念されます。

② 地震の規模

昨年県が実施した東南海・南海地震による被害想定の見通しでは、東南海・南海地震が同時に発生した場合、県南部の広い範囲で震度5強埋立地や干拓地など地盤のゆるいところで震度6弱となるおそれがあり、また地震発生から2時間30分～45分後には高さ2～3mの津波が到達するとの想定がされています。

③ 被害想定

倉敷市の被害規模は、最も火災被害が出やすい冬の夕刻で、市域全体で焼失棟数18,719棟、死者304人、負傷者9,288人、罹災者54,695人と想定されています。

また、平成15年12月には、倉敷市をはじめ県内の5市7町が東南海・南海地震防災対策推進地域の指定を受け、倉敷市にあつては地震の揺れに加え、津波による浸水区域にも該当していることから多数の避難者が予想され、被害用備蓄の拡充や防災体制の見直し、強化を図っているところで

ともかく、備えあれば憂いなしとは参りませんが、地震だけでなく、台風にしても災害は誰も歓迎しませんが、ハムにとっては特に鬼門です。

JA4YAB AWARD VIEWS

de JA4XZR

| 【今後の市町村の合併予定情報】 資料提供[国土地理協会] 2005年9月20日現在 | | | | |
|---|-------|--------|-------------|-------|
| 合併年月日 | 都道府県名 | 新市町村 | | 合併形態 |
| 2005. 10. 01 | 北海道 | 石狩市 | いしかりし | 編入 |
| " | " | 二世郡八雲町 | ふたみぐんやくもちょう | 郡 新設 |
| " | " | 遠軽町 | えんがるちょう | 合併 |
| " | 岩手県 | 遠野市 | とおのし | 合併 |
| " | 秋田県 | 横手市 | よこてし | 合併 |
| " | " | にかほ市 | にかほし | 合併/市制 |
| " | 山形県 | 鶴岡市 | つるおかし | 合併 |
| " | 宮城県 | 南三陸町 | みなみさんりくちょう | 合併 |
| " | 福島県 | 会津美里町 | あいづみさとまち | 合併 |
| " | 新潟県 | 南魚沼市 | みなみうおぬまし | 編入 |
| " | 長野県 | 長和町 | ながわまち | 合併 |
| " | " | 飯田市 | いいだし | 編入 |
| " | " | 安曇野市 | あづみのし | 合併/市制 |
| " | " | 飯綱町 | いづままち | 合併/町制 |
| " | 埼玉県 | 熊谷市 | くまがやし | 合併 |
| " | " | 春日部市 | かすかべし | 合併 |
| " | " | ふじみ野市 | ふじみのし | 合併 |
| " | " | 鴻巣市 | こうのすし | 編入 |
| " | " | 小鹿野町 | おがのまち | 合併 |
| " | 茨城県 | 石岡市 | いしおかし | 合併 |
| " | " | 桜川市 | さくらがわし | 合併/市制 |
| " | 栃木県 | 大田原市 | おおたわらし | 編入 |
| " | " | 那須烏山市 | なすからすやまし | 合併/市制 |
| " | " | 那珂川町 | なかがわまち | 合併 |
| " | 群馬県 | みなかみ町 | みなかみまち | 合併 |
| " | 山梨県 | 市川三郷町 | いちかわみさとちょう | 合併 |
| " | 愛知県 | 新城市 | しんしろし | 合併 |

| 合併年月日 | 都道府県名 | 新市町村 | | 合併形態 |
|--------------|-------|-------|-----------|-------|
| 2005. 10. 01 | 愛知県 | 田原市 | たはらし | 編入 |
| " | " | 設楽町 | したらちよう | 合併 |
| " | 三重県 | 南伊勢町 | みなみいせちよう | 合併 |
| " | 滋賀県 | 米原市 | まいばらし | 編入 |
| " | 和歌山県 | 新宮市 | しんぐうし | 合併 |
| " | " | かつらぎ町 | かつらぎちよう | 編入 |
| " | 兵庫県 | たつの市 | たつのし | 合併 |
| " | " | 西脇市 | にしわきし | 合併 |
| " | " | 佐用町 | さようちよう | 合併 |
| " | " | 新温泉町 | しんおんせんちよう | 合併 |
| " | 福井県 | 越前市 | えちぜんし | 合併 |
| " | 石川県 | 加賀市 | かがし | 合併 |
| " | 島根県 | 浜田市 | はまだし | 合併 |
| " | " | 大田市 | おおだし | 合併 |
| " | " | 吉賀町 | よしかちよう | 合併 |
| " | 山口県 | 山口市 | やまぐちし | 合併 |
| " | 鳥取県 | 北栄町 | ほくえいちよう | 合併 |
| " | 佐賀県 | 佐賀市 | さがし | 合併 |
| " | 長崎県 | 平戸市 | ひらどし | 合併 |
| " | 熊本県 | 氷川町 | ひかわちよう | 合併 |
| " | 大分県 | 杵築市 | きつきし | 合併 |
| " | " | 由布市 | ゆふし | 合併/市制 |
| " | 沖縄県 | 宮古島市 | みやこじまし | 合併 |
| 2005. 10. 03 | 熊本県 | 玉名市 | たまなし | 合併 |
| 2005. 10. 10 | 新潟県 | 新潟市 | にいがたし | 編入 |
| 2005. 10. 11 | 北海道 | 釧路市 | くしろし | 合併 |
| " | 長野県 | 筑北村 | ちくほくむら | 合併 |
| " | 茨城県 | 鉾田市 | ほこたし | 合併/市制 |
| " | 静岡県 | 牧之原市 | まきのはらし | 合併/市制 |
| " | 三重県 | 紀北町 | きほくちよう | 合併 |
| " | 京都府 | 京丹波町 | きょうたんばちよう | 合併 |

| 合併年月日 | 都道府県名 | 新市町村 | | 合併形態 |
|--------------|-------|---------|----------|-------|
| 2005. 10. 11 | 香川県 | 観音寺市 | かんおんじし | 合併 |
| " | 福岡県 | 上毛町 | こうげまち | 合併 |
| " | 長崎県 | 雲仙市 | うんぜんし | 合併/市制 |
| " | 鹿児島県 | いちき串木野市 | いちきくしきのし | 合併 |
| 2005. 10. 24 | 兵庫県 | 三木市 | みきし | 編入 |
| 2005. 11. 01 | 岩手県 | 西和賀町 | にしわがまち | 合併 |
| " | 山形県 | 酒田市 | さかたし | 合併 |
| " | 福島県 | 会津若松市 | あいづわかまつし | 編入 |
| " | 長野県 | 木曾町 | きそまち | 合併 |
| " | 山梨県 | 甲州市 | こうしゅうし | 合併 |
| " | 三重県 | 伊勢市 | いせし | 合併 |
| " | " | 熊野市 | くまのし | 合併 |
| " | 兵庫県 | 多可町 | たかちょう | 合併 |
| " | 富山県 | 高岡市 | たかおかし | 合併 |
| " | " | 射水市 | いみずし | 合併 |
| 2005. 11. 03 | 広島県 | 廿日市市 | はつかいちし | 編入 |
| 2005. 11. 07 | 福島県 | 白河市 | しらかわし | 合併 |
| " | 和歌山県 | 紀の川市 | きのかわし | 合併/市制 |
| " | 兵庫県 | 神河町 | かみかわし | 合併 |
| " | 福井県 | 大野市 | おおのし | 編入 |
| " | 鹿児島県 | 南さつま市 | みなみさつまし | 合併 |
| " | " | 霧島市 | きりしまし | 合併 |
| 2005. 11. 27 | 愛知県 | 豊根村 | とよねむら | 編入 |
| 2005. 12. 01 | 福島県 | 二本松市 | にほんまつし | 合併 |
| 2005. 12. 05 | 鹿児島県 | いすみ市 | いすみし | 合併/市制 |
| | | | | |

晴れの国おかやま国体

あなたがキラリ 2005 OKAYAMA 第60回国民体育大会

国体夏季大会 9月10日～13日

国体秋季大会 10月22日～27日

昨年のハムフェア2004は、私の都合で初日の見学ができなくなり、それまで経験したことがない二日目の見学になったが、今年も昨年同様に二日目の見学になってしまった。そのために開会式の様子などは見る事ができなかった。

8月21日(日)10時過ぎに好天の東京駅に着いた。予めインターネットで調べた都バスの時刻表によれば、一番早い接続のバスまで十数分しか余裕がない。大急ぎで、荷物を東京ビッグサイト行きの都バスの乗り場に近い、東京駅八重洲南口の近くのコインロッカーに預けて、バス乗り場へ向かった。都バス乗り場①への歩道を歩いていたら、バス乗り場の南側の路上にバスが一台停車しており、都バスの職員二名が、「東京ビッグサイト行き直行バスです、信号が変わったら発車します。」と案内していた。このバス乗り場は、南側からの太陽を遮るものが無いので、この暑いバス停に並んで待たなければならないのか、と思いながら歩道を渡っていたので、この案内はものすごく嬉しかった。小銭入れから二百円分の小銭を取り出して料金箱へ入れ、バスへ乗り込んだ。東京ビッグサイトで、大きな催し物があるときには、臨時バスが運行されるが、うまくそのバスに乗れて、予定の定期バスより5分早く出発して、途中一箇所豊洲駅のバス停に停車しただけで、約30分で11時には東京ビッグサイトに到着した。

今朝は、4時に起きて食事をし5時過ぎに家を出たので、腹も適当に空いているし、12時になれば混雑することが予想されるので、昼食を早めに摂ろうと、会場の前横にあるレストランに立ち寄ったが、レストランの営業は11時からになっており、少し早かった。そこで先に入場券売場へ行って入場券を入手し、一度メインゲートを入れて、入場券にコールサインと氏名を記入して胸のポケットに挿した。確か去年は、メインゲートを入ったすぐのところの長机の上に、ガイドブックと安全ピンや筆記用具が置いてあったが、今年はガイドブックがない。そこで、会場へ入ってすぐ左側の、インフォメーションセンターでガイドブックをもらい、ガイドブックの3ページに、赤の来場記念スタンプを押した。これでレストランで食事を摂りながら、ゆっくりとガイドブックを見ることができると、レストランへ戻って見たら営業が始まっており、既に先客が何名か食事をしていた。

ガイドブックによれば、ハムフェア2005は、昨年のハムフェア2004と同じく東京ビッグサイトの西2ホールを使って行われており、四つのコーナーに分けられている。

Aブロックは、JARLコーナーで、A-01からA-13まで13のコーナーがある(昨年より一つ多い)。

Bブロックは、ビジネスコーナーで、B-01からB-23まで23のコーナーと、飲食物を扱う3つのFOODコーナーがある(昨年より一つ少ない)。

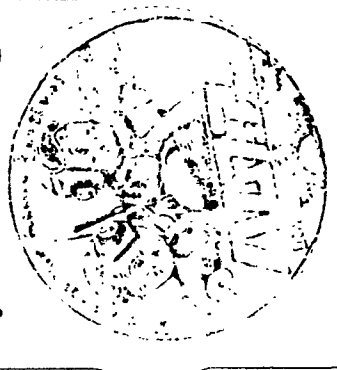
Cブロックは、クラブコーナーで、一般展示コーナーは、C-001からC-119まで119のコーナーがある(昨年より17少ない)。純粋展示・発表コーナーは、CJ-01からCJ-38まで38のコーナーがある(昨年より一つ多い)。

DブロックはJ A I Aコーナーで、J A I Aのメーカー11社の中から、4社が出展している(昨年と同数)。

イベントコーナーでは、二日間プログラムに従って、11時~16時の間、計10のイ

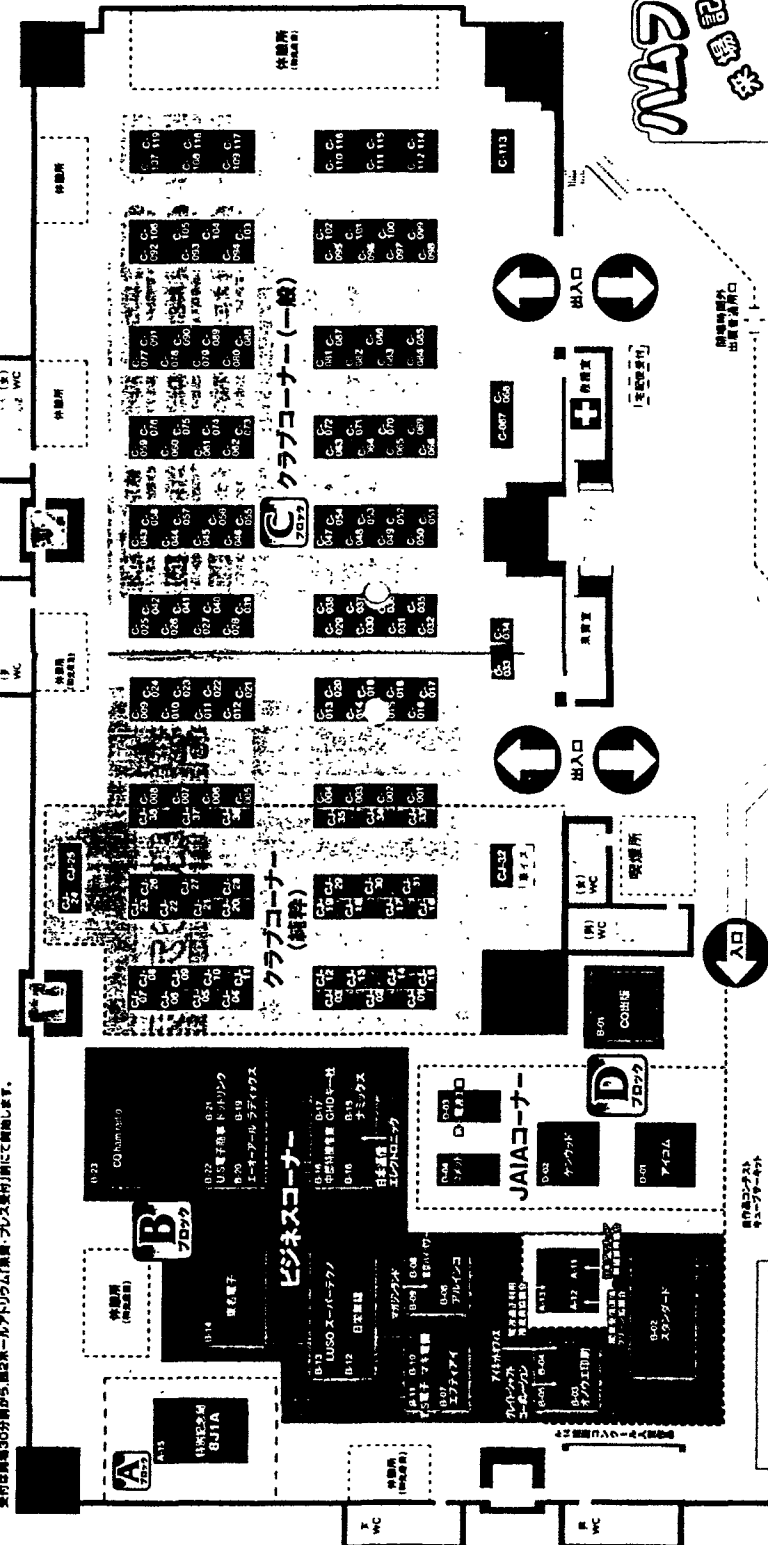
HALF 2005

会場記念スタンプ



東武東上線76番 会場内クワーター・ジャンボスター(A-O)のりか

【特別企画BUNAの専用スタンプについて】
 当日会場を巡る方は、JARL会員のスタンプを優先的に集めることができます。スタンプは会場30分前から、東武東上線76番「会場内クワーター」で配布いたします。



昭和52年発行の「アマチュア無線50周年記念スタンプ」を全席配布!

～集める方法と場所などについては当日ご案内～

このスタンプは昭和52年に、初めて発行されたアマチュア無線50周年を記念して、当時の発行部数は約3000部が发行され、多くの人々に愛用されています。JARLでも、この記念スタンプを発行された当時、多量に購入していましたが、このスタンプの発行部数が限られていたため、今回、JARL会員の皆様へ配布させていただきます。

配布方法

- 2005年のスタンプ
- 昭和52年のスタンプ
- 昭和52年発行の「アマチュア無線50周年記念スタンプ」
- 昭和52年発行の「アマチュア無線50周年記念スタンプ」

配布場所: 会場内クワーター・ジャンボスター(A-O)のりか

HALF 2005

会場案内図

東京ビッグサイト西2ホール

ベントが行われる。

また、CQ ham radioブースでは、二日間に11の講演が、プログラムに従ってそれぞれ行われ、会議棟601号室では、8月20日(土)に、第4級ハム模擬テスト&第3級ハムモールス模擬テストが、プログラムに従ってそれぞれ行われることになっている。

このほか、同じ東京ビッグサイトの中の6階605会議室で、日本無線協会が三・四級アマ技士の臨時国試、JARLがモールス電信技能認定を、ハムフェアに合わせて開催している。

昼食が終わって最初に向かった展示は、メインゲート左側のJAIAコーナーである。近くで見ても悪い虫が起こってはまずいので、各社のブースが一つずつカメラに入る位置から写真を撮るだけにした。

次に、JARLコーナーを見て回って写真を撮った。

続いて、ビジネスコーナーへ行った。毎年楽しみに立ち寄ることにしているJA1AMH高田氏がやっておられるミズホ通信のブースが、ガイドブックになかったの、そんなはずはなかろうと探してみたが、やっぱり無かった。昨年見学したときに、VYQRLのご様子だったので挨拶だけで失礼したが、今年はお目にかかれず寂しかった。

ビジネスコーナーが終わりになったところの壁際には、特別記念局の運用コーナーがあった。ハムフェアの特別局のコールサインは、以前は8J1HAMと決まっていたが、最近では8J1Aで、殆ど全部のリグの前にオペレーターが着席して、運用していた。私は、HFのハンディートランシーバーは持っていないので、今日もV・UHFの144/430/1200MHzのハンディートランシーバーを持ってきている。記念局コーナーの左の方のV・UHFのところを見ると運用されている様なので、バッグからトランシーバーを取り出しイヤホンを入れて、ビジネスコーナーを見て歩きながらワッチしていたら、1200MHzの8J1Aがすぐわかり、JA1BRP/1とJA4KI/1でQSOした。次に144MHzでもQSOした。残りは430MHzだけになったが、会場内の他のブースで運用されている8J1A以外の記念局との混変調などで、どの周波数が本物かがよくわからない。しばらくしてようやくのことで周波数をつきとめたが、ものすごくたどたどしいQSOで、なかなか相手をしてもらえない。どのような人がオペレートしているのかと、記念局コーナーへ行ってみたら、オペレーターは、中学生位の男の子で、そばに父親と思われる人がついてQSOしていた。アマチュア業務の定義には、確かに「自己訓練」と言う文言があるが、少し辛口を許してもらえるならば、このような記念局を使つての自己訓練は、記念局との交信を希望している多くのハムにとって、非常に精神衛生に悪いものになることは、間違いないだろう。例えば相手局が「どうぞ」を送信して引込んだときに、すぐ電波を出して「応答」や「通報の送信」をしないため、相手局は自分をわかってもらっていないと思って、繰り返す呼ぶとか、ある局とのQSOが終わった後、多くの局が呼んできているにもかかわらず、それらの呼び出しには応答しないで、長々と「CQ」を出すなどで、会場内のいわばシールドの中に入っている様などころにある私のトランシーバーに入感している局ならば、VYFBなアンテナがつながっている記念局には、必ず入感しているはずであると思われたが、どうだったのだろうか。そのうちに中学生オペレータの運用時間が終わり、オペレートの上手な人に替わって、1時間27分かかってようやくのことで、JA1BRP/1とJA4KI/1の二局でのQSOを終わった。これで昨年と同じように3バンドで8J1AとQSO

することができた。

途中メインゲート近くのトイレへ行ったときに、入場券売り場のボックスのメインゲート側にある窓口に「アマチュア無線五十周年記念切手の販売は終わりました」という掲示を見つけたので、「昨日で売り切れたのだな、やっぱり昨日来ておけば買えたのになあ」、と思っていた。ところが、場内放送で「13時から切手の販売を行います」との案内があった。

早速その窓口へ行ってみたところ、頒布される切手類の概要や販売方法の掲示があり、ガイドブックに書いてあった内容とは少し変更されていた。何名かの人が窓口に並んでいたが、まだ販売時間までには時間があるので、また場内へ戻って見て歩いた。先ほど見た「切手の販売は終わりました」の掲示は、昨日用のものだったらしい。販売開始時間になってから買いに行ったら行列ができており、その行列に並んで買うことができた。わたくしは「子」の歳なので、易者が言うところの「ものを集める癖がある」で、切手の収集もかろうじてやってはいるが、同じ紙切れでも福沢諭吉(昔は聖徳太子だった)が印刷されているものは、さっぱり集まらなくて困っている。h i

ビジネスコーナーでは、トランス、コンデンサー、スイッチなどの買いたいものがあったので見て歩いたが、希望のものは見つからなかった。

クラブコーナーへ入った。忘れないうちにと、まずユニセフハムクラブのブースへ行き、毎年のごとく、使用済み切手を入れて持参した封筒を、切手を扱っていた係の人に手渡した。クラブコーナーのブースは、1つから4つがまとまって、一つのユニットになっているので、各ブースを見ながら、そのユニットを単位にして、その殆どを写真に撮った。クラブコーナーの写真を撮り終えたところで、今自分が居る位置が、クラブコーナーの一番はじっこで、他のコーナーからは一番遠いところである。そこでクラブコーナーを、もう一度逆に見ながら入り口に近いところへ向けて帰ることにした。

最後に、入り口近くにあるCQ出版のブースへ寄って、JARL販売品の、改正されたアマチュア局変更申請書と、再免許申請書を買った。

今日はこちらに泊まって明日帰宅する予定なので、全体にゆっくりと見学できた。しかし、今年はお互いによく知った人に全く会うことができず、残念だった。

帰りは、定期バスで、東京駅八重洲口へ戻り、今夜の宿泊場所へ向かった。

次の日は「世界の秋葉原」へ行ったが、TVなどでもよく伝えられているとおり、秋葉原駅やその周辺が大きく様変わりしており、わたくしが1950年代の後半に、定期券を買って通っていたときの秋葉原から、大きく変わっていた。

昨日買えなかったトランスやコンデンサーを買って、その日のうちに自宅へ帰り着いた。

毎年減り続ける年金を主な収入源として生活していて、目の毒だからと、JAIAコーナーをじっくりと見るができない私でも、このハムフェアは大変良い刺激になる。いろいろと考え方はあるとしても、私の様に地方にいる者にとって、このハムフェアは、有益でありがたいものであると思っている。

来年は、8月19日(土)～20日(日)に行われるのが、お盆の後のUターンラッシュの終わり頃の、列車の切符が大変取りにくい時季で、地方の者には、あまりありがたくない日取りになっている。しかしできる限り都合をつけて、見学できるように努力したいと思っている。

◎留守番電話機の増設

留守番機能の付いている電話機は、大変便利なものです。

しかし、現在使っている電話機にも愛着があって、現在使用中の電話機を留守番機能の付いているものに取り替えることができなかつたり、例えば、わたくしの家では、ホームテレホンを使っている、親機にはドアホンが繋ぎ込んであり、親機から子機へは4芯で配線されているために、一般市販の留守番電話機を買ってきても、接続することが不可能といったケースもあります。

このようなときに、簡単に留守番電話機を設置する方法があります。

電話の工事は、法律の定めによって「工事担任者」以外ではできないことになっていますが、「モジュージャックにモジュラープラグを差し込むだけの工事は、工事担任者でなくてもできる」のです。

NTTからの電話線は、普通軒下の「保安器」という避雷器を通して家の中に引き込まれていますが、最近では、引き込まれた線の先には、モジュージャックが付けられていて、そのジャックに、現在使っている電話機のプラグが差し込まれているはずですが、

電機量販店やホームセンターへ行くと、ジャックへ差し込むと、ジャックが二口になるアダプターを売っていますので、それを買ってきて、ジャックを二口にしてください。電氣的には、現在の電話機と並列にもう一つ電話機をつなぐことができる様にした、ということです。二口になったジャックの片一方には、今までつながっていた電話機のプラグを差し込みます。念のために受話器をあげて発信音が聞こえることを確認しておいてください。

もう片一方の残っているジャックへ、留守番電話機をつなげばOKなのですが、留守番機能のある電話機は、殆どの場合AC100Vにつなぐ電源アダプターが付いていますから、アダプターをコンセントに差し込んで、留守番電話機に電源コードをつなぎましょう。

留守番電話機を新たに買うのなら、留守応答自動解除機能や、保留自動解除機能のある留守番電話機で、その他の機能はできるだけ少ない安価なものをお勧めします。

購入した電話機の取扱説明書は、とにかくよく読んでください。

同梱されている電話機の自営届けの「はがき」は、捨ててはいけません。

留守番電話機の留守番機能は、平生はOFFにしておけば、かかってきた電話に出るのが少し遅れたために、留守電が応答してしまったというようなことにならなくてよろしい。外出するときには、留守番機能を忘れずにONにしておいてください。留守電の応答メッセージは、最近の留守番電話機には、レディーメードのものが入っているものが多いのですが、もしそのメッセージが、「ただいま留守にしております…」というものの場合は、防犯上の理由から、「ただいま電話に出ることができません…」に変更しておいてください。外出から帰ったら留守電をOFFにして、留守中に着信していないかを確認し、着信しておればメッセージを聞きましょう。

終わりに、取扱説明書に同梱されていた自営届けのはがきに、その電話番号に現在接続されているすべての機器の名称や認定番号などを記入して切手を貼って投函してください。なお、電話機の増設による電話料金の値上がりはありません。もし今までNTTの電話機を使っていたことになっていた場合などは、機器使用料が無くなって、毎月の請求額が安くなる場合があります。

いろいろなケースで、ご不明の点があれば、ご遠慮なくわたくし宛にお尋ねください。なお、機器の取り扱いについては、わたくしが、すべてを知っているわけではありませんので、取扱説明書をよくご覧になり、それでもご不明ならば、製造メーカーの窓口にお尋ねくださる様をお願いします。

お知らせ

◎JARL会員局名録'06-'07年度版のクラブでの一括購入のご案内

先号のJARL NEWSでもご覧になったことと思いますが、JARL NEWS秋号に、詳細が確定したものが発表されています。

今回の大きな改正点は、個人情報保護法によって、書店での取り扱いを行わないこととなったことで、今まで書店で購入されていた方は、買えなくなりますのでご注意ください。

毎年当クラブで行っている一括購入については、申し込み締め切りが、先号のJARL NEWSに発表されていた予定より約一ヶ月遅くなったことにより、昨年どおり12月のクラブ報に発表して受付をしますので、それまでお待ちください。

局名録についての詳細は、JARL NEWS秋号の20ページをご覧ください。

◎アマチュア無線技士国家試験

・第一・二級アマチュア無線技士

試験地 大阪市 広島市 松山市など全国11都市

試験日時 第一級 12月10日(土) 09:30～

第二級 12月11日(日) "

申請書の受付期間 10月1日(土)～20日(木)で、受付期間中の消印有効です。
次回分の受付は、来年2月の予定です。

・第三・四級アマチュア無線技士

試験地・試験日 大阪市 11月12日(土)・12月10日(土)

広島市 11月27日(日)・来年 1月15日(日)

松山市 11月20日(日)

いずれも、試験時間は、受験票で指定されます。

申請書の受付期間 試験月が11月のものは、

9月 1日(木)～20日(火)で、既に終わっています。

試験月が12月のものは、10月 1日(土)～20日(木)

来年 1月のものは、11月 1日(火)～21日(月)で、

このほかの詳しいことは、4月号のクラブ報の末尾の綴り込みをご参照ください。

アマチュア無線技士以外の資格の無線従事者国家試験については、年間の予定表が、JA4KIさんのところへありますので、おたずねください。